フランシュ・コンテ大学

Université de Franche-Comté

フランス共和国

●学部・大学院生 27,000人　●教職員 2,400人
ホームページ　http://www.univ-fcomte.fr/
交流協定締結年月日：2009年7月24日　　主管学部：創造工学部

国際交流の特色

　フランスのブザンソン市にある歴史的にも由緒ある総合大学の一つ。メカトロニクスに関する日仏会議の提唱大学の一つであり、香川大学とはFEMTO-ST(旧LAB:自動化研究所)を通じて交流を行ってきた。世界の60機関と交流協定を締結している他、150機関と協力関係があり、盛んな国際交流を行っている。語学学校も完備しており、外国からの留学生も多い。FEMTO-STは大学付属の機関でありながら、600人の研究者を擁し、ドイツの6つの大型ナノテクセンターの一つとして、200以上の研究プロジェクトを持つ。

交流実績（平成２８年度～３０年度）

年度 / 受入・派遣	H28	H29	H30
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0

フランシュ・コンテ大学での調印式

教員からの声

　平成21年7月24日香川大学は、フランス共和国フランシュコンテ大学との間で、大学間交流協定を締結しました。フランシュ・コンテ大学は、1423年に開設された古い歴史を誇る大学で、15の学院からなる教職員数2400人、学生数27000人の総合大学です。協定書の調印はブザンソン市内の本部学長室で、フランシュ・コンテ大学のコンド学長と工学部秦教授により行われました。本協定の調印により、フランシュ・コンテ大学と香川大学は、双方の学術交流を拡大・推進するために、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などを実施していました。フランシュ・コンテ大学は、2009年1月に調印した国際メカトロニクス研究教育機構を構成する11大学の一つで、その交流の具体的実施のために大学間学術交流協定、学生交流プログラム細則、およびフランシュ・コンテ大学理工学部と香川大学大学院工学研究科との国際インターンシップ協定が締結されました。これまでに、ナノオプティクス関係の共同研究と、フランシュ・コンテ大学のナノテクノロジー関係の研究所であるＦＥＭＴＯ－ＳＴへの学生派遣が行われています。また、国際メカトロニクス研究教育機構の一員として、2012年11月、パリにて日仏メカトロニクス国際会議を開催するなど、共同で幅広い学術活動を行いました。

創造工学部　教授　今井　慈郎

学生からの声

　私はフランシュ・コンテ大学のFEMTO - ST研究所の光計測部門で、5ヶ月間国際インターンシップを実施しました。本研究所はフランスの東部のブザンソンという町にあり、光計測技術及びマイクロ技術で世界中に知られています。今回の国際インターンシップで、優秀な若手研究者をはじめ、多様な考え方を有する研究者達と研究交流ができました。また、高度な専門知識を得たと同時に、異文化も味わえました。私の人生にとって、とても貴重な経験になっています。

工学研究科　斉　威